

## ベトナム沖「15-2鉱区」権益取得15周年記念事業の実施について ～ハ・ナム省の中学校校舎建て替え資金を寄付～

記者各位

当社(社長:西尾 進路)および当社の石油開発部門である新日本石油開発株式会社(社長:大森 輝夫、当社100%出資会社)は、ベトナム沖「15-2鉱区」の権益取得15周年を記念し、ベトナム社会主義共和国ハ・ナム省タン・リエム郡人民委員会に対し、タン・チュエン中学校校舎建て替え資金13.7万米ドル(約16百万円)の寄付に関わる贈呈式を実施しましたのでお知らせいたします。

ベトナム南部の沖合に位置する「15-2鉱区」では、1992年10月に、当社グループの石油開発プロジェクト会社である日本ベトナム石油株式会社(以下「JVPC」)が、ベトナム政府より権益を取得し、オペレーターとして探鉱活動を行った結果、1994年6月にランドン油田を発見いたしました。


その後、JVPCは、同油田の北部(1998年)、東部・南部(2002年)、中部(2005年)と商業生産を拡大しており、同油田におけるこれまでの累計生産量は既に1億4千万バレルに達しております。さらに、同油田の北東に位置するフンドン油田においても、2007年5月に開発作業を開始し、2008年9月末の生産開始を目指しております。

この「15-2鉱区」権益取得15周年を記念し、8月29日(水)にベトナム シェラトンハノイホテルにおいて、ベトナム政府関係者、ベトナム国営石油関係者などを招待した記念セレモニーを開催いたしました。この中で当社グループを代表し、当社社長西尾 進路より、タン・チュエン中学校の建て替え資金の目録を贈呈いたしました。

当社グループでは、ベトナムにおいてこれまでに、小学校の建設資金の寄付(2002年)、身体に障害を持つ子どものためのリハビリセンターの建設資金の寄付(2005年)など、様々な社会貢献活動を実施するとともに、JVPCの社員が中心となって、これらの施設の子どもたちとの交流活動も行っております。今後も地域社会の一員として、このような社会貢献活動を継続してまいります。

左からタン・チュエン中学校グエン・ティ・ニャン校長、新日本石油開発社長大森輝夫、当社社長西尾進路、ハ・ナム省タン・リエム郡人民委員会グエン・ニューラム副委員長



別添資料  寄付の概要、15-2鉱区の沿革など (PDF:86.3KB)